

神のおとずれ

日本聖公会 神戸教区報



2020年
4月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<http://www.nskk-kobe.org/>

発行責任者
司祭 上原 信幸

印刷所
文明堂印刷所

「よみがえり」 〜生まれ変わる喜びへ〜

司祭 トマス 河村 博之



ある主日の礼拝後にお茶を
飲みながら、こんな疑問を伺
いました。

「^{よみがえり}甦りとは何か？」

教会では復活日(イースタ
ー)に、主イエスが人々の罪
を背負い、十字架にかかっ

て、死に、三日目に甦り、弟
子たちに現れたと言います。
私達は、これを主日礼拝など
を通して古くから大切に守
り、今日に至っています。
この疑問、一度は、どこか
の場面で覚えたことはないで
しょうか。人間は、この世に
生を受け、育ち、やがて死を
迎えます。これらはいくまで
も体験として、実感できる
し、経験としても、この光景
を身近に感じることがあるで
しょう。しかし、「^{よみがえり}甦り」とな

ると、想像を超えます。あの
弟子たちも、そうでした。イ
エスに一番近い弟子、イエス
と短い間かもしれないが、食
事を共にした弟子たちペテ
ロ、ヨハネ、ヤコブ、アンデ
レ……イスカリオテのユダに
至っては、イエスを銀貨三十
枚で売り渡しているではない
ですか。
*
トマスは、言いました。
「あの方の手に釘の跡を見、
この指を釘跡に入れてみなけ
れば、また、この手をその脇
腹に入れてみなければ、わた
しは決して信じない。」(ヨハ
ネによる福音書二十章二五
節)これは、至極当然の言葉
でしょう。一つの事象に疑い
を持ち、それを追求し、考察

を深め、やがて確証を得よう
とする。いや、得られないか
もしれません。仮に、確証を
得られなくとも、追求し、考
察を深めるといふ過程は、と
ても大切だと思います。

一人の人間が生まれ育ち、
やがて死ぬ。その中で何度、
この過程を経ってきたことでし
ょうか。私の場合、特に、高
校までの学びから大学での学
びに変わる時、それを実感し
ました。知識の習得、それを
もとに持論を展開し、追求
し、考察を深めていくことが
できました。情報が溢れる昨
今、自分自身がどこに立
ち、何をこれから歩もうとし
ているのか、特に求められる
のではないのでしょうか。
*
さて、これを読む皆さん
は、大学生でしょうか、高校
生でしょうか、教会の信徒の
一人、たまたま毎号送られて
くるので、目を通してみよう
と思われている方々……。あ

なたも、あのイエスの弟子た
ちと同じような経験をしてい
るのです。「わたしには信仰
がありません。」トマスの言葉
を思い出してください。とて
もイエスと共に過ごした弟子
とは、思えない言葉ではあり
ませんか。しかしトマスは、
イエスに出会い、「わたしの
主、わたしの神よ」と信仰告
白へと導かれます。そしてイ
エスは、「わたしを見たから
信じたのか。見ないのに信じ
る人は、幸いである。」という
言葉を遺されました。

*
「甦りとは何か」これは、永
遠のテーマです。わたしたち
は、その中にいます。教会に
連なる時、このことを深く思
い起こさせられます。そし
て、今までと違った自分自身
に気づくでしょう。これから
も、信仰の追求への道を歩ん
でください。
(神戸聖ミカエル教会副牧師・
神戸国際大学チャプレン)

神戸バイブルハウス主催 イスラエル巡礼旅行

二〇一九年十二月から二〇二〇年明け早々のアメリカ、イランの緊張状態のために、神戸バイブルハウス企画のイスラエル十日間のイエス様の足跡を辿る巡礼旅行の実施が心配されました。一月十一日関西国際空港を発ち、十七時間のフライトの末に真夜中のテルアビブに到着。入国審査は厳しいという情報でしたが、質問もされず荷物のチェックもなく通過し、バスでエルサレムへ。

翌日曜日には、聖ジョージ(ゲオルギウス)大聖堂(英国国教会エルサレム・中東聖公会管区エルサレム教区主教座聖堂)にて聖餐式に与り、巡礼の旅が始まりました。

エルサレム旧市街にあるヴィア・ドロローサ(イエス様

が十字架を背負って歩んだであろう約一キロの道)は二〇〇年前は、現在の道の約七メートル地下にあるとのこと。周囲の賑やかさに気を取られないよう、足の裏に意識



(エルサレム 聖墳墓教会 イエスの墓)

を集中して、イエス様の十字架の道行き、ピラトの官邸、第一留から聖墳墓教会内の第十四留(ゴルゴタの丘と考えられている場所)まで歩きました。また旧市街からケデロ

ンの谷を挟んだ東にあるオリブ山の五つの教会、旧市街の南、シオンの丘にある鶏鳴教会(大祭司カイアファの屋敷跡、イエス様が捕らえられ、ペトロが否認した場所)を訪れました。シーズン・オフはほとんど無いということ

で、エルサレムの街も周辺の道路も駐車場も、多くの国からの観光客、巡礼団で混雑しています。教会内では、いくつもの巡礼団が譲り合いながら、列を作りエルサレム入城後のイエス様の足跡を思い起こします。

エルサレムから南へ約十kmのベツレヘムでは、イエス様の誕生の地とされる聖誕教会へ。大きな会堂の奥の狭い階段を、様々な言語の巡礼団と

肩を寄せながら降りると、地下の洞窟に聖誕の場所があります。ベツレヘムはパレスチナ自治区にあり、車窓からは分離の壁が見られ、途中に検問所がありました。無事に



(ベツレヘム 聖誕教会)

通過。町の中にも分離の壁がありました。

旅の後半は、エルサレムを離れてガリラヤ湖周辺、ガリラヤの風薫る丘で、広い空の下、湖を臨む緩やかな起伏のあるこの土地で、イエス様

は約三年の間に弟子たちと共に、奇跡を行われました。この辺りを歩かれたんだろうとか、この斜面でお話をされたんだろうとか、この斜面が何千人もの人々で埋まったんだろうとか、想像の膨らむ地です。山上の垂訓教会は、この土地にある黒い火山岩を使っ

て建てられた美しい教会です。パンの奇跡の教会、ペトロ首位権教会(復活のイエス様が現れ、ペトロに「私の羊を飼いなさい」と言われた場所)、マグダラのマリア教会も訪れました。

イエス様がペトロ、ヤコブ、ヨハネと登ったといわれるタボル山は、標高五八八メートル、やや険しい山の上に主の変容の教会があります。聖堂内の変容の場面の天井画が輝いていました。ナザレのお告げの教会(聖ガブリエル教会)、受胎告知教会を訪れて巡礼の旅が終わりました。

毎日のミサで、カトリック、プロテスタント、聖公会の違いを尊重しつつも垣根を越え共に祈り、陪餐に与ることができました。聖地の空気

に包まれ、体験ができたことは、今後の信仰生活の黙想の糧となるでしょう。

弘井宗子・高知聖パウロ教会信徒

オーガスタンの まなざし



主 教 小 林 尚 明

「煉獄と結婚」

ある教会を巡回した時のことです。高齢の男性信徒さんから質問がありました。「死んだ後、煉獄(れんごく)はありますか。天国で家内ともう一度、結婚生活が出来ますか」というものでした。素晴らしい奥様と結婚生活をされたのだらうな、と少々うらやましくなりました。私は次のように答えましたが、今はそれを後悔しています。

「残念なのですが、イエス様が十字架に架かる三日前の火曜日のことです。『復活する時には、めとることも嫁ぐこともなく、天使のようになるのだ』と言われていいますから、天国で奥様と一緒に結婚生活は出来ないようですよ」と答えてしまいました。

聖書を文字だけで追っつけば、このような答えもあるかもしれませんが、この方が聞いたかったのは、愛する妻と再会できるだろ

うか、ということだったと思います。そしてその再会は、今まで以上に良い状態と考へて希望を持たれたらと、今なら言い直したい。

前の聖歌集四九三番は、三節目で「おやはわが子に、ともはともに、いもせ(妹背・夫婦)相会う、父のみもと」と歌っていました。どうして現在の五一八番は、「いもせ」を削ったのか、私にはわかりません。新婚のカップルは、結婚当初、お互いを知るために、会話を重ね、お互いに触れあつて理解を深めてゆきます。しかし年数を重ねれば、あまり言葉や体を触れ合わなくても理解し合える円熟した夫婦になつてゆくものです。そんな関係が、復活の時にもつと充実、円熟しているだろうというのが聖書の語る『天使のようになるのだ』の意図なのかもしれません。

質問した男性信徒さんが、聞いたかどうかが知らなくて、「煉獄はありますか」と問われたのではなかったかと思ひます。聖公会は宗教改革の時、この世の人々の償いを要求する、当時の教会が教える「煉獄」は否定しましたが、死者との交わり、復活の望みを持つて亡くなった人々との再会を否定してはいません。

(神戸教区主教)

マリヤ津口和子伝道師を神様のもとへ

一月十八日(土)早朝、竹内

司祭から、津口先生の訃報の電話をもらいました。「何!」と叫んだことをよく覚えています。と言いますのは、昨年十二月十五日の下関聖フランシス・ザビエル教会巡回日の前日、先生の入院されていた光風園病院に伺つて、お元気そうな笑顔を見せて頂いた矢先だったからです。(写真はその時のものです)

先生は今年になって肺炎のため体調を崩され、関門医療センターに入院されていたそうです。私は十九日の呉信愛教会の巡回を終えて、二十日の通夜の祈りと二十一日の葬儀に出席させていただきました。葬送式の説教を担当しました。

津口先生は、一九二七年生まれの九十二歳でした。一九四六年十九歳の時に下関の教会で洗礼を受けておられます。そして一九五〇年、先生が二十三歳の時、神戸の松蔭短大基督教科を卒業して伝道師に認可されます。伝道師への道を決められたことについて、先生が退職された一九九七年三月の神のおとずれに以

下の様に書かれています。

「わたしが洗礼・接手を受けたのは昭和二十一年で、第二次世界大戦直後という時代で、焼野原の中を通つての下関フランシス・ザビエル教会通いでありました。その当時食べるもの、着る物、住む所の不自由をみんな背負つて若い人達が教会に集まりました。



た。私の教父母でもある、故

中村弘司祭ご夫婦の人柄とお心遣いもあつて、礼拝に行けば貧しい中でも心休まる思いを経験する事が度々ありました。実に教会は不思議な所だと思ひました。後に故中村弘先生に『教会のお手伝いをしたい』と申し出た時に『貧乏するよ』と唯一言だけ、それだけを言われて、私の道は決まりました。

先生は、その後、徳島インマヌエル教会や下関の教会勤務を経て、日本復帰前の沖繩で六年程働かれた後、一九六七年四十歳の時に神戸教区に戻られ、岡山聖オーガスタン教会に赴任されました。

そこから、倉敷伝道所に移られ、一九九七年退職を迎えられます。その時の心境を同おとずれに、「いろいろな時に多くの人々に出会つて影響を受け『すべての事相働きて益となる』の御言葉を実感している今日に感謝しております」と書かれていました。

先生は、退職されてもしばらく倉敷のみなさんと信仰生活を共にされ、二〇〇六年の新しい伝道所(倉敷聖クリストファー教会)聖別式に立ち会われた後に下関に帰られ、静かな信仰生活を過しておられたということです。

昨年十二月、最後にお会いした時「主教さん、お体に気を付けて、教区のために頑張つてください」という言葉を頂き、心を引き締めたところでした。津口先生、長い間、私たち神戸教区のためにお働き下さり、ありがとうございました。神様のもとで安らかに過ごしてください。

(神戸教区主教小林尚明)

鳩だより 《敬称略》

ご逝去

二月四日(火)

テレサ 松本 信子
下関聖ラランシス・ザビエル教会

二月十二日(水)

サ ラ 嶋 田 智恵子
広島復活教会

二月二十一日(金)

モ ニ カ 赤 澤 愛子
呉信愛教会

二月二十五日(火)

イ サ ク 芳 田 茂 幸
富岡キリスト教会

教籍移動

一月一日(水)

ヨ ハ ネ 西 川 晃
ジェーン 西 川 由美子
ヨ シ ユ ア 西 川 一 輝
明石聖マリアマグダレン教会から
神戸聖ミカエル教会へ

一月十五日(水)

ル ツ 津々見 富紗子
ラ ケ ル 津々見 葉子
神戸聖ミカエル教会から
カトリック神戸中央教会へ

一月十六日(木)

エ レ ミ ヤ 能 勢 正 和
神戸聖ミカエル教会から

北海道教区旭川聖マルコ教会へ

二月一日(土)

サムエル 前 田 恵一
明石聖マリアマグダレン教会から
神戸聖ミカエル教会へ

神戸教区
新型コロナウイルス
感染防止対策

新型コロナウイルスによる感

染症発生が報じられ、国内でも
感染事例が公表されています。
つきましては、教会内外の人々
の健康を祈り、より良い行動を
とられるよう、当面の間、以下
のことを心に留めてくださるよ
うお願い申し上げます。

一. 信徒・聖職とも飛沫感染、
接触感染を防ぐために、うがい
やこまめな手洗いの心がけをお
願い致します。聖堂や会館等の
入り口に手指消毒用のアルコー
ルや除菌タオルなどの設置をお
願い致します。

二. 信徒の方の場合、感染症が
疑われる場合は、無理をせず聖

餐式への参加自粛をお願い致し
ます。

三. 聖水盤のある教会では、使
用を控えるようお願い致します。

四. 司式者はじめ御聖体を扱う
方々は、聖餐式前の入念な手洗
いをお願い致します。

五. 平和の挨拶では、握手等は
避け、会釈に留め、子どもや求
道者などへの祝福で頭に手を置
く場合は、聖職の手指が直接相
手に接触しないように配慮をお
願い致します。

六. インテイクション等につ
いては、教会により様々な作法

があると思えますので、清潔な
形で行えますようご注意ください
い。各教会で話し合ってください
いますように。また、判断が難
しい場合は教区主教までご相談
ください。また、地域内で発生
したなどの緊迫した状況の場合
は、司式者が葡萄酒を浸したパ
ンを、陪餐者の手に渡すなどの
方法をとってください。

なくとも構いません。
尊い命を失った方々の魂の平
安、感染した方々の回復と感染
の終結を切に祈ります。
(神戸教区主教 小林尚明)

教区諸行事
中止のお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡
大防止のため、左記の行事が中
止となりました。
1. ファイリピンワークキャンプ
2. 春の青年交流会
3. 中高生大会 春の準備会

※三月二十一日(土)の聖職按手
式は延期になりました。

5月の教区関係教役者
逝去記念聖餐式

日時 2020年5月7日(木)
午前10:30
場所 神戸聖ミカエル大聖堂
司式 主教 小林 尚明
説教 司祭 八代 智

* 5月の記念逝去教役者

2日	司 祭	覚 前 政 蔵
5日	宣 教 師	ヴァイオレット ヘ ッ ト
6日	司 祭	吉 本 要 太 郎
10日	司 祭	フランク ウェストン
14日	伝 道 師	マリヤ 松 山 初 子
16日	司 祭	ポウロ 韓 浩
19日	主 教	パウロ 八 代 欽 一
22日	司 祭	ペテロ 長 澤 四 郎
24日	司 祭	ヨハネ 村 上 豊 吉
24日	司 祭	パウロ 大 塚 磐 吉
26日	司 祭	末 好 萬 吉
27日	司 祭	バルナバ 阪 村 達 雄
28日	司 祭	バルナバ 與 賀 田 千 秋
29日	司 祭	アーネスト ハッチンソン
30日	宣 教 師	メイブル バ ー グ ス